

キャリア・イングリッシュ専攻から航空業界へ！

卒業生6名による特別対談

コロナ禍の影響で一時期採用活動がなくなるほど大きな影響を受けた航空業界。

しかし、そんな逆境でも諦めることなく学び続け、就職活動に臨んだルーテルの学生たち。

今回は、それぞれに夢を叶えた2023年度の卒業生6名に集まっていただき、航空業界への想いやルーテルでの学びなどについて語っていただきました。



どうして航空業界を目指されたのですか？

西岡さん 小学生の頃に一人で飛行機に乗った際、客室乗務員の方がとても親切に接してくださったことがきっかけです。それ以来、ずっと憧れて夢見てきました。

高橋さん 私も西岡さんと同じで搭乗したときの経験がきっかけ。高校生の頃に友人と3人で旅行へ行く際の機内で「将来こうやって仕事をしたい」と思ったことを今でも覚えています。

奥村さん 私も小学生の頃から飛行機に憧れはあったのですが、具体的にCAを目指すようになったのは中学生になってからです。今思えば「背が高いからなれるんじゃない？」と祖母に言われたことが背中を押してくれたのかもしれない（笑）

濱武さん 旅の高揚感にあふれた空港という場所が好きで、私も中学生くらいの頃には航空業界で働きたいと思うようになっていました。

中川さん 私は、単身赴任だった父と別れる場所、迎える場所である空港はとても特別な場所でした。そんな子どもの頃の経験から、気づけば「私もここで働きたい」「客室乗務員になりたい」と思うようになっていました。

板井さん 私の場合はみんなと少し違って、大学で学び、就職活動する中で新たな選択肢として見つけた感じです。



コロナ禍もあって、特に航空業界の就職活動は大変だったと思いますが、どうやって乗り越えましたか？
また、内定が出た今、残りの学生生活をどのように過ごしていますか？

奥村さん 親からも「航空業界を目指し続けて大丈夫？」と言われていましたが、私自身は「絶対になりたい！なるんだ！」とむしろ決意を固めた気もします。もちろん不安がなかったわけではありませんが…。

西岡さん コロナ禍での就職活動に不安を感じなかった人はいないと思いますが、エアライン・ツーリズム講座の中で「航空業界がなくなることはない。需要は必ずあり続ける」という話を聴いて、改めて「客室乗務員以外に私がやりたいことはない！」と決意を新たにしました。

高橋さん 私は皆さんよりも入学年度が一年早く、2019年入学です。就職活動を始めたときにまさにコロナの影響で航空業界の採用がストップしていた時期。そのときに無理に就職活動をするのではなく、視野を広げようとして留學することにしました。ただその選択にも不安はあったのですが、学科のシルック先生が力強く背中を押してくれました。本当に感謝しています。

西岡さん 学科の先生でいうと、いつも学生一人ひとりを気にかけてくださるベンケ先生に支えてもらったと感じています。授業の始めにそれぞれの近況を尋ねてくださった、普段から私たちを見守ってくださる先生です。



中川さん 私もベンケ先生に英語での面接練習をお願いしたり、自信が持てないときに気持ちをポジティブにしてくれるような声をかけていただいたりと、とても感謝しています。あとはやはり、同じ目標を持つ友人の存在が大きかったです。高橋さんとは一緒に企業研究もしました。

ルーテルのキャリア・イングリッシュ専攻で学ぼうと思われた理由や、実際にルーテルで学んで良かった点を教えてください。

奥村さん 客室乗務員を目指す上で語学力は必須なので、まさにキャリア・イングリッシュ専攻は最適な選択だったと思います。その考えは今振り返ってみても間違っていないかったです。また、当時目にした大学案内に客室乗務員として働かれている卒業生が載っており、「ここなら夢を叶えられる！」と思いました。

板井さん 私は地元・熊本で学びたいと思っていたことと、英語を学ぶなら少人数で学べる大学がいいと思っていたので、ルーテルへの進学を決めました。

西岡さん 英語を学ぶなら少人数がいい。私もそれは実感しました。高校時代や入学当初は、英語をちゃんと発音しようとすることが恥ずかしいというか、照れもあって片言英語のように話していましたが、オールイングリッシュの授業を通してそんな自分を変えられたと思います。英語を話すことが日常的になって、喋り慣れました。

全員 とてもよくわかります（笑）

高橋さん そういった意味でも、英語力の成長を実感するのはスピーキングですね。英語を話すことが目的というよりも、コミュニケーションをするツールに英語があると感じるようになり、英語を学ぶことが楽しくなりました。

中川さん 私は高校生の頃から留学したいと思っていたので、学費や生活費の観点から地元の大学に進もうと考えていました。実際にイギリスに5ヶ月ほど留学できたことは、学生時代に築けた大きな財産です。

濱武さん 実践的な授業で英語力を高められたことはもちろん、「エアライン・ツーリズム講座」という授業で航空業界の実感を学べたことも就職活動に向けてのモチベーションになりました。

高橋さん 放課後にカフェとかで集まって、いろんな悩みを打ち明けたらね（笑）

板井さん 私は「どうしても航空業界に！」という皆さんとは違い、学校推薦で受験しました。でも、こうやって内定をいただいた今、皆さんが強い想いで志していた航空業界で同じように活躍したいと思っています。そのために英語以外の語学を身につけようと、台湾語を勉強し始めました。TSMCという台湾の半導体メーカーの工場が熊本にできることもあり、これからきっと役立てられると思っています。

全員 すごい！

濱武さん 私も英語と共に韓国語を勉強中です。私は勤務地が福岡空港なので、韓国のお客様と接することは多いはず。グランドスタッフとして活かせるスキルにしていきたいと考えています。

奥村さん 私は高校時代から中国語を学んでいたりと、留学で出会った韓国と今でもSNSでつながっていたりと、英語以外の語学力向上は意識しています。

中川さん 私も同じく韓国語を勉強していて、資格の取得も目指しています。あとは空港のスリーレーター（例えば熊本空港をK MJと表記するもの）を覚えていたり、残りの学生生活を楽しみながらも、卒業後に向けてできることにトライしていきたいですね。

コロナ禍を乗り越えて夢を叶えたからこそ、これからますます楽しみです。皆さんの活躍を楽しみにしています。今日はありがとうございました。

全員 ありがとうございます！

細やかな気配りを心がけ、お客様の期待を超えるサービスができる客室乗務員になりたいと思います。



就職先：日本航空株式会社【客室乗務員】
西岡 実佑さん
熊本県 九州学院高等学校出身

生活路線や離島の便が多い航空会社に就職するので、暮らしを支えるという意識も忘れずにいたい。



就職先：ANAウイングス株式会社【客室乗務員】
奥村 朋佳さん
熊本県 東陵高等学校出身

私自身が客室乗務員としての仕事を楽しむことで、お客様の機内での時間をより良いものにしたいと思います。



就職先：全日本空輸株式会社【客室乗務員】
高橋 あかりさん
熊本県 鹿本高等学校出身

日本らしいホスピタリティを提供できる人材になり、ANAをいい航空会社だと思っていたきたいです。



就職先：全日本空輸株式会社【客室乗務員】
中川 みなみさん
熊本県 菊池女子高等学校出身

一人ひとりのお客様と向き合う姿勢を大切に、マニュアル的ではない私らしさのある接客をしたい。



就職先：株式会社JALスカイ九州【グランドスタッフ】
板井 咲樹さん
熊本県 勇志国際高等学校出身

ビジネスや旅行といった目的に関わらず、空港を利用される方々のより良い旅立ちをサポートしたい。



就職先：ANA福岡空港株式会社【グランドスタッフ】
濱武 香羽さん
熊本県 熊本西高等学校出身